

自己評価票

- 自己評価は全部で101項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	23
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	8
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	101

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明


評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	柏崎グループホーム ふれあいの家
(ユニット名)	北側
所在地 (県・市町村名)	新潟県柏崎市
記入者名 (管理者)	山田 修治
記入日	平成 20年 10月 9日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)
 (項目5, 7, 8, 9, 14, 15は評価重点項目です)

取り組んでいきたい項目



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「和を大切にする」を基本理念としています。住み慣れた地域の中で、今までの交流関係を大切にしていきたいという思いで開設当初から続けています。利用者に関係するすべての方から協力して頂いて、人権やその人らしさを大切にするケアに取り組んでいます。	○ 近隣の方との交流が図れるようにしていきたいと思います。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	基本理念のもとに、担当者が月毎の目標を決めて、全員で具体的な実践に取り組んでいます。各ユニット毎にホール内で掲示して、日々意識して取り組んでいます。	○ 基本理念を振り返る機会をミーティングや事例を通じて、度々つくっていききたいと思います。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ご家族宛の「ふれあい新聞」で周知を図っています。また、利用者の知人や近所の方の訪問でも、目に留まる場所に掲示しています。	○ 地域の集まりなどに事業所の活動内容や理念を伝えていきたと思います。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	夏祭りは近所の方々に声をかけて、子供達の参加を募ることができました。残念ながら、当日は天候不良で中止でしたが、次回来て頂けるように、再度声を掛けており、繋がりを大切にしたいと考えております。	○ 再度、近隣の方と交流できるきっかけをつくっていききたいと思います。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	保育園児の訪問や中学生のボランティア活動の受け入れを行っております。町内会の祭りでは、神楽に来て頂いて交流を図っております。	○ 定期的な地域活動に参加できる機会を見つけていきます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p> <p>地域包括支援センターの方や町内会長からも在宅高齢者の暮らしを聞く機会がありました。ホームを開放して、交流の場になることができれば良いと思います。</p>	○	短大などから介護実習を受け入れる契約を結んでいます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p> <p>ミーティングで自己評価の話し合いができており、各自が意見を発表しています。また、外部評価の結果も報告し、改善に向けて検討する機会を設けており、実施する意義の理解に取り組んでおります。</p>	○	継続的に取り組みができるようにしていきたいと思います。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> <p>町内会長や民生委員の方にも参加して頂いて、活動内容を報告すると共に、地域の実情を知るなど交流を図ることができました。</p>	○	定期的な開催を行い、改善経過をモニターしてもらえようになりたいと思います。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> <p>利用者の利用状況やサービスの具体的な内容について、介護高齢課の担当者と協議しながら進めることもあり、交流を図っております。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> <p>権利擁護については、包括支援センターに講義の依頼を行いました。多忙の為、開催には結びつきませんでした。</p>	○	外部の研修会に参加する機会もあり、調整しています。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> <p>高齢者虐待防止研修会に参加して、ミーティングでも伝達研修を行っています。グループホームは閉鎖的な面もあり、その方の発するサインを発見した場合は連絡するなど伝えていきます。皆で心掛けることを意識しています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約については、一方的な説明にならないように、利用者の人権に配慮しています。また、金銭や事故など問題が予想されることについても納得して頂ける説明を心掛けています。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者から直接、意見や苦情を管理者へ話されることもあり、生活に支障がでないように改善に取り組んでいます。	○ 利用者の意見を聞く定期的な機会を作り、実現に向けた取り組みをしていきたいと思ひます。また、介護相談員などを受け入れて、外部から利用者の代弁を聞く機会も必要かと思ひます。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時にお話したり、「ふれあい新聞」でご家族に報告しています。また、担当者から個別の近況報告を手紙で書いてお知らせしております。担当が替わった時には家族へ報告しています。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時に家族から意見を聞くようにし、改善に向けて取り組んでいます。また、直接言い出しにくい場合の連絡先として、市町村の相談窓口や本社のお客様相談室の連絡先を伝えています。	○ もっと家族や外部の意見・苦情が集まるようにして、改善に取り組んでいきます。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングなどで職員からの意見を聞く機会を多く設けており、待遇面の改善に努めています。	○ 業界全体の問題意識を持ち、事業所の待遇改善を図りたいと思ひます。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	二人介助が必要な時や通院介助が続くような場合は、管理者も同行するするなど、現場のフォローに回るようにしています。また、行事など人員が必要な場合は、勤務の調整をしております。	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者と職員の異動はなく、馴染みの関係を大切にしております。担当が変わる場合も家族へ挨拶を行い、ケアに影響がでないように配慮しています。	
18-2	○マニュアルの整備 サービス水準確保のための各種マニュアルが整備され、職員に周知されている。また、マニュアルの見直しが適宜行われている。	各種のマニュアルを整備しており、研修報告で周知しております。	○ マニュアルの改訂が定期的に行われるとよいと考えています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
5. 人材の育成と支援				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングをしていくことを進めている</p>	年間の研修計画に従い、本社の巡回研修や他のGHに交換研修を行っています。伝達研修で周知を行い、職員の資質の向上に努めています。	○	多くの職員が参加できる機会をつくり、意欲的な参加で技術向上につなげていきたいと思いをします。
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	地域で開催される研修会に参加して、情報交換や交流の機会となっております。	○	市内で交換研修や意見交換が行われる機会を望んでいます。
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	十分な休息が取れるようなシフト組みや職員の要望に応えられるように話を聞いて取り組んでいます。また、ミーティングで話し合う機会をつくり、意見を出してもらったり、互いの意見を聞くなどして、ストレスを溜め込まないようにしております。		
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	資格取得で受験料免除や報奨金制度があり、サポートしています。雇用形態の改善に努め、変更しております。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	利用に至るまでに、見学や自宅へ訪問したりする中で、直接お話を聞く機会を設けています。本人の不安や希望を受け入れていけるように努力しております。		
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	入居申し込みから、利用に至るまでには時間がかかることもあり、家族の苦労や在宅介護の状況をよく聞くように配慮しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>		
26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		
28	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>		
29	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>		
30	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>		
31	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	ホーム退所後も、情報提供を求められることがあり、家族や他施設職員と連絡しております。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員全員が本人の思いや意向の把握に努めています。まず、本人様がどのようにしたいのか、確認してからケアの実施に努めています。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	馴染みの暮らし方や生活環境がまったく変わること、また関わり方でも大きな混乱が生じることを意識しています。一人ひとりに合わせた介護ができるように把握に努めています。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	食事や掃除の時間が決まった時間だけではなく、したいときにできるように環境を変える工夫をしています。	○ できないことよりもできることに着目したケアの視点で取り組みたいと思います。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	カンファレンスなどの話し合いの時間では、活発な意見交換をしており、意見を反映した介護計画作りを行っております。	○ 家族からもカンファレンスに参加して頂き、意見や要望を反映した計画づくりを行っていききたいと思います。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	体調の変化などが生じた場合には、統一したケアが行えるように、話し合いを行っています。家族やかかり付けの医師とも相談して、必要であれば変更しております。変更点は日々の業務日誌に記載し、現状に即したものとしております。	○ 更新時期に合わせて、介護計画の作成をしており、再作成を随時行うようにしていきたいと思っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別記録を通して、日常の変化や生活の情報を共有しています。毎月のミーティング(カンファレンス)で話し合いを行い、対応を検討しています。</p>	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>通院にはホーム職員が付き添いを行っています。利用者の希望にあわせて、自宅への訪問を支援したり、また、入院中の利用者への面会を行うことで、把握できるようにして支援しています。</p>	
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>機会は少ないですが、園児の訪問や地域施設の利用をしながら支援しています。</p>	
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>本人の状態に合わせて、医療機関の変更や調整を行う支援をしています。また、希望に応じて、訪問理容サービスの利用があります。</p>	
42	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>運営推進会議には地域包括支援センター職員に参加して頂き、情報交換を行っております。</p>	
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ほとんどの利用者が、入居前からのかかりつけ医を継続して、利用している。受診記録を残して、次回に申し送ることで継続した治療を把握することができています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	○	<p>認知症の専門医に全ての方が掛かっているわけではなく、定期的な検査など必要かと思えます。</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	○	<p>訪問看護ステーションと連携が取れるようにすることで、日頃の健康状態を相談できるようにしていきたいと思えます。</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	<p>受け入れえる体制が取れるように、医療機関との連携を強めていきたいと思えます。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	<p>かかりつけ医の協力のもとに、緩和ケアができる環境整備、職員の理解と意欲の充実を図りたいと思えます。</p>
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入浴の声かけなどは大きな声を出さずにさりげなく行っています。記録作業も事務所で行うようにしており、個人情報の取り扱い注意事項を掲示しています。	○	個人により言葉かけの違いがあり、感覚の違いが見られています。皆で気をつけています。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	遠方の家族から贈り物が利用者宛に届いた時には、電話で直接お話ができる機会をつくったり、お礼の手紙を送る支援をしています。日常の中でも、選択できる機会や行事に参加できる機会をつくり、本人の好みを知るようにしています。	○	一方的な立場で利用者を判断せずに、利用者の気持ちを読み取るように気をつけていきます。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースやリズムに合わせて、無理強いせず、利用者の自主性を尊重しています。夜間にテレビを楽しんでいる時間を大切にするなどの配慮をしています。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人や家族から希望があった時に行き付けの美容院に出掛けています。訪問理容もお願いして、対応しています。		
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	包丁を使つての下ごしらえや味付けを見てもらうこと。盛り付け、配膳、食器洗いなど協力して行っています。畑で収穫した野菜も調理して、楽しみながら味わっております。	○	配膳の途中で、先に食べ始めてしまうこともあります。食事の間を意識したり、待てないこともあることを配慮しています。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お茶の時間に食べたいおやつを一緒に買出しに出かけている。お酒やたばこを好む方はいませんが、大晦日などでは本人様に希望を聞くようにしています。自室でお菓子を保管している方も、時々職員が確認しています。また、ホームで管理の必要な方には、声掛けをしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	○	夕方の入浴希望者はおりませんが、臨機応変に対応ができればよいと考えています。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	○	他の方でも個人がお金を所持することで、安心される場合も予想されるので、話し合いをしています。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	○	夕方の時間を活用して、外出の時間をつくるように話し合いをしています。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	○	家族が参加できる食事や旅行などの機会があれば良いと話し合いをしています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	母の日や敬老の日に家族から贈り物が届いた時には、お礼の電話を自らしたり、手紙を書く機会を支援しています。暑中はがきを手作りで行い、年賀はがきの時期には言葉掛けを行っています。	
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	明るい雰囲気でも招くことができるように普段から心掛けています。挨拶など接遇面の研修を行い、外部の方たちに対しても、一人ひとりがホームの顔として接することを目標に決めて取り組みました。	
(4)安心と安全を支える支援			
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「禁止の対象となる具体的な内容」を全ての職員に配布して、研修をしています。身体拘束を全職員が行わないケアを実施しており、行動制限や言葉の抑制をしないように取り組んでいます。	○ センサーなども拘束に繋がるおそれがあり、安全確保が身体拘束にならないように話し合い、心がけています。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中はいつでも出入りができるように玄関は開放されています。玄関に鈴を取り付けており、安全確保にも努めています。	○ ミーティングやヒヤリハットで話し合いを行っており、出入りのある時間帯などを重点的に気をつけています。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員同士で協力しながら、安否や所在の把握に努めています。必ずホールに職員がいるようにして、さりげなく全員の状況を把握しています。	○ 申し送りなどでホール対応が一人になる時などは業務中心にならないように気をつけています。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	台所や洗濯室などは洗剤類が目につれないところ、手の届かないところで保管しています。時に台所は食べ物や刃物の整理整頓に努めています。	
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハットや事故報告書を記入して、ミーティングで話し合いを行い、チームで再発防止に努めています。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消防署による救急法の訓練を定期的実施しております。いざというときに慌てないように手順書を張り出しております。	○	いろんな場面を想定しての訓練ができていないため、実施できるようにしていきます。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は年に2回実施しており、夜間帯を想定した訓練を実施しています。	○	地域の協力体制が図れるようにしていきたいと思います。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとり起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	転倒などの事故が発生した場合には、こまめに家族や医療機関に連絡を行い、ホームでの対応を迅速に行っています。ホームでできることを明確にして、家族の理解を得られるように努めています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の変化が合った場合は、現状の把握を行い、他の職員と情報を共有しています。対応の判断に迷う場合には、医療機関やホーム長への連絡を速やかに行っています。互いのユニットで協力しながら対応ができています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	通院介助はほとんどが職員で行っており、薬局からお薬の説明を受けています。受診記録やお薬の説明書で管理把握に努めており、きちんと服用できるまで見守っています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘日数に合わせて頓用薬を調整すると共に、食事面や適度な運動、水分などでも働きかけを行っております。また、栄養指導のときに便秘改善のアドバイスを受けて、取り組んでいます。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後に口腔ケアを促し、口腔機能の維持向上に努めています。柏崎歯科医師会からの定期的な健診も全員実施しています。	○	口腔ケア研修の機会を見つけて、積極的に参加していきたいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	柏崎市の栄養士が訪問していただき、献立表の見直しや職員からの質問に答えて、栄養状態のバランスを確認して頂いています。	○	糖尿病の方には、定期的に通院介助を行い、血糖値の把握を行っています。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	外出後の手洗い、うがいの支援、食前の手の消毒、テーブルの消毒やトイレ、台所も毎回実施しています。ノロウイルスの時期には次亜塩素酸系で消毒を行っております。	○	早期対応で蔓延防止に努めていきます。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	消毒方法は統一した方法で毎日行っています。食材の買出しも毎日行っており、食材を余らせることなく使い切るようにしています。麦茶やポカリなど作り置きするものは、日付をボードに記入して確認しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りや建物周辺をきれいにしています。玄関内には行事の写真を飾り、楽しんでいる雰囲気が伝わるようにしています。玄関に植木鉢を置き、利用者様が自由に水やりを頂いています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	調理場とホールは対面式になっており、互いの様子をうかがい知ることができます。天候に合わせて、障子を外すことで外の眺めもよく、調整しています。エアコンの吹き出し口が直接肌に当たらないように、布でカバーしています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや畳に座って、職員とまた利用者同士と一緒に過ごせるようにしています。畳スペースでは洗濯たたみしながら、談話されたり、キーボードを弾かれたり、思い思いに過ごされています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室には家で使われたダンスや家族の写真、趣味の楽器、好きな歌手の写真を飾られ、その人らしさのある居室づくりを行っております。希望のある方はホームで畳を準備しています。	○	家族もくつろげるお部屋づくりができれば、楽しく本人も過ごすことができるので、よいと考えています。
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気の上よみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	利用者がホールにおられる時に居室の換気に努めています。西日が当たる居室にはすだれを利用して、気温の上昇に気をつけています。冷暖房もまめに調整しています。トイレの確認を行い、清潔を保つ心がけています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	布団から立ち上がるのに不安がある方でも、居室内に手摺りやイスを置くなどして工夫をしています。夜間のトイレ起床は必要のある方にはセンサーライトで足元を照らしています。	○	転倒がある方には、ベッドや手摺りなど居住環境の見直しを行って、再発防止に取り組むようにしています。
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	目の高さに居室の表札があり、居室を迷われた場合はその都度の説明をしております。	○	本人が混乱や失敗した場合に、非を責めるのではなく、安心してもらえる環境整備に心がけていきたいと思っています。
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	畑があり、草取りや収穫を楽しんでいます。物干し台を使用したり、屋外で日向ぼっこができるようにイスとテーブルも用意しています。		

V. サービスの成果に関する項目	
項目	最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある ○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています ○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない

項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="checkbox"/>	①ほぼ毎日のように
		<input type="checkbox"/>	②数日に1回程度
		<input checked="" type="checkbox"/>	③たまに
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input checked="" type="checkbox"/>	①大いに増えている
		<input type="checkbox"/>	②少しずつ増えている
		<input type="checkbox"/>	③あまり増えていない
		<input type="checkbox"/>	④全くない
98	職員は、生き活きと働けている	<input checked="" type="checkbox"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="checkbox"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="checkbox"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="checkbox"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

調理や掃除など利用者と協力しながら行っており、力を合わせています。生活の場として、利用者の生き生きとした表情や活動が發揮できるように、職員が環境の一部となり、一生懸命に取り組んでいます。他にも利用者や家族に対し、信頼関係が築けるようにしています。そのために、日常の様子を把握し、利用者の生活に怪我や病気の悪化などが不利益が生じないように気を付けています。